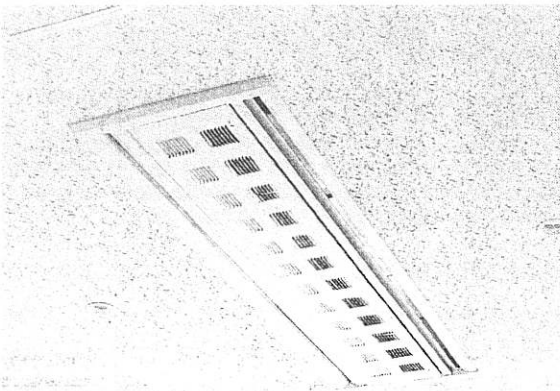
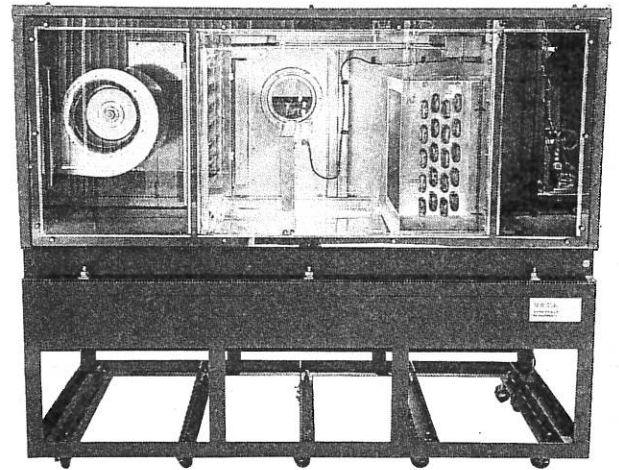


新晃工業

紫外線ランプで空気除菌 「健康空調」で感染症対策

業務用空調機器の総合メーカーである新晃工業が手掛ける、紫外線(UVC)ランプを使った空気除菌システム「健康空調」は、感染症対策に寄与すると好評を得ている。ウイルス感染症リスク低減のためには、換気だけではなく室内循環空気への対策が必要である。

「健康空調」は、空調機内に超高出力の紫外線照射が可能なUVCランプを搭載し、空気中の細菌・ウイルスを分解・除去することで、浄化された空気を室内に供給する。患者や見舞客など多くの人が出入りする病院の待合や、医療福祉施設など、施設規模や特色に合わせて、安心・安全



な空調システムを構築できる。

2020年9月に空調調和・衛生工学会より、『新型コロナウイルス感

染症対策としての空調設備を中心とした設備の運用(改訂2版)』において、紫外線照射の有効性が専門家により認められ

空気除菌システム「健康空調」[®]とカセット型ファンコイルユニット

た。「健康空調」に搭載されているUVCランプは、世界最高水準の超高出力UVCランプを採用し、253.7nm波長光の紫外線を照射する。また、200nm以下の照射がほとんどないため、オゾンなどの2次汚染物質が発生しない。ランプ照射時の空調機内のオゾン濃度は0.03ppm以下と安定している。

今春より、「健康空調」の新ラインアップとして、UVCランプ搭載ファンコイルユニットを順次リリースする。第一弾として、4月に「健康空調カセット型ファンコイルユニット」の販売を予定している。

ファンコイルユニット内部にUVCランプを組み込むため、機外への紫外線漏洩の心配がなく、点検用パネルを開けるとUVCランプが切れる安全装置が付いている。また、既設品へのリプレイスには、機器本体への大掛かりな工事は不要で、天井パネルの交換と簡単な接続工事だけで、容易にUVCランプ搭載機器へグレードアップすることが可能となっている。